

中学校第1学年 音楽科学習指導案

日 時 平成23年9月22日(木) 2校時
指導者 教育センター所員 山田 礼

1 題材 「言葉の特徴を感じ取って旋律をつくろう」

2 題材設定の趣旨

- 本題材「言葉の特徴を感じ取って旋律をつくろう」は、言葉のアクセントやリズム、ハ長調による旋律、構成(反復)を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、言葉のアクセントやリズム、ハ長調による旋律、構成(反復)などの特徴を生かした音楽表現を工夫し、思いや意図をもって旋律をつくることができるようにすることをねらいとしている。

本題材は、新学習指導要領の内容「A表現(3)創作」の指導事項に関連した内容である。「創作」の学習は、新学習指導要領の改訂において、生徒が音のつながり方を試しながら短い旋律をつくったり、音素材を選び、まとまりを工夫して音楽をつくったりするなど、音を音楽へと構成していく体験を重視することの改善を図ったものである。

新学習指導要領の全面実施は、平成24年度からであるが、移行期間であることを踏まえて、この題材を設定した。対象学年は、1年生であるが、小学校の新学習指導要領の全面実施が平成23年度からということで、新学習指導要領による「音楽づくり」の活動を十分に行っていないという実態を踏まえ、移行期における授業の提案として、小学校で示されている指導事項も加味しながら、本題材を構想した。

本教材の絵本「おやおや、おやさい」石津ちひろ(文)・山村浩二(絵)は、野菜たちが、スタジアムや外の川べりを走る様子をユーモラスに描いており、韻を踏んだような言葉遊びが面白く、思わず口ずさみたくなる楽しい絵本で、言葉のアクセントやリズムの特徴を感じ取って旋律をつくるには、適した教材であると言える。

- 本学級の生徒は、事前アンケート(30名対象)より、約66%(20名)の生徒が音楽の授業を「とても好き」「まあまあ好き」と答えている。「音楽の授業でどの活動が一番好きか」という質問に対し「音楽を聴くこと」が約53%(16名)で、「楽器を演奏すること」が約23%(7名)、「歌を歌うこと」は約20%(6名)であった。「音楽をつくること」と回答した生徒は約3%(1名)のみであった。「音楽の授業でもっとやってみたい活動は何ですか?」という質問に対しては、「音楽を聴くこと」と回答した児童が43%(13名)、「楽器を演奏すること」約37%(11名)、「歌を歌うこと」と「音楽をつくること」と回答した生徒が約10%(3名)ずつであった。これまでの音楽科学習において、「音楽づくり」の学習に取り組んだ経験がほとんどないため、「音楽をつくること」の学習のイメージができないのであろう。しかし、やってみたい活動に「音楽をつくること」と回答した生徒が10%(3名)いたことから、音楽をつくってみたいという生徒もあり、本題材の学習を行うことで、「創作」の活動の面白さを味わわせるよい機会となるのではないかとと思われる。

このように、「創作」の学習の経験のない生徒や経験がないから興味がない生徒に対して、音楽をつくることの楽しさを感じ取らせ、音楽をつくる過程において、音を出して試行錯誤しながら音楽をつくり、一人一人の作品をつくる過程や作品を認め、励ましの声をかけ、自分の表現に自信をもたせることができるような手立てをとる必要があると考える。また、音楽を知覚・感受しながら、音楽の特質や雰囲気を感じ取らせ、表現を工夫することの楽しさを味わわせることも大切であると考え。

- 本題材は、新学習指導要領の「A表現(3)創作」の指導事項アの「言葉や音階などの特徴を感じ取り、表現を工夫して簡単な旋律をつくること」(第1学年)を取扱い、〔共通事項〕との関連を図りながら指導を進めていく。

指導に当たっては、小学校の音楽科における「音楽づくり」の学習の経験など、生徒の実態に応じた学習過程を工夫し、生徒が旋律をつくる楽しさや喜びを実感できるようにしたい。

そこで、絵本の特徴のある言葉のアクセントやリズムに気付かせたり、言葉のアクセントやリズムを生かした旋律のよさに気付かせたりしながら、リズムや旋律の記譜の仕方を丁寧に指導することによって、絵本の言葉のアクセントやリズム、ハ長調による旋律、構成(反復)などの特徴を感じ取って創作に必要な技能を身に付け、思いや意図をもって自分の旋律をつくるできるようにしたい。

まず、言葉のもつアクセントやリズムに気を付けながら絵本を読み聞かせ、生徒にも音読をさせる。言葉を声に出して読むことで、言葉には高低のアクセントがあることに気付かせる。また、言葉のリズムをアルトリコーダーのタンギングで表現させることで、言葉のもつリズムに気付かせる。

次に、生徒が聴いたことのある曲を例に出して、その曲の旋律が、言葉のアクセントやリズムに合う旋律となっていることに気付かせ、旋律の特徴をつかませる。

そして、教師が言葉のアクセントやリズムに気を付けながら旋律を創作し、創作学習のモデルを示す。ここで、旋律をつくるときのポイントを学ばせることによって、生徒の創作活動の見通しをもたせたい。さらに、自分で選んだ絵本の言葉に旋律をつけることによって、意欲をもって創作の活動に取り組ませたい。

創作をする過程では、実際に手拍子を打ったり、アルトリコーダーで音を出して確かめたりしながら旋律をつくるようにさせる。表現の工夫に関しては、言葉のアクセントやリズム、ハ長調による旋律、構成(反復)などを手掛かりにして、思いや意図をもって表現の工夫をさせたい。

生徒が実際に音を出して試行錯誤しながら旋律をつくることができるようにするために、ワークシートを工夫する。思いついた旋律を階名とリズム呼称で記録させるようにする。

次に、記録した階名とリズム呼称を楽譜にするとときのポイントを押さえ、作品を仕上げさせるようにする。このことにより、生徒が記譜することにとらわれず旋律づくりに集中させることができる。と考える。

活動が滞っている生徒には、音階表やリズムヒントカードなどを利用させたり、絵本の言葉をどのように感じているのか、対話を通して確かめてあげながらつくらせたりする。

個人で完成した作品は、グループや学級全体で共有させ、創作活動の満足感を味わわせたい。

3 題材の目標

- 言葉のアクセントやリズムを感じ取り、言葉の特徴を手掛かりに簡単な旋律を創意工夫してつくる学習に取り組む。

4 題材の評価規準

音楽への 関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
関① 言葉のアクセントやリズム、ハ長調による旋律、構成(反復)などの特徴に関心をもち、それらを生かして音楽表現を工夫して簡単な旋律をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。	創① 知覚・感受しながら、言葉のアクセントやリズム、ハ長調による旋律、構成(反復)などの特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。	技① 言葉のアクセントやリズム、ハ長調による旋律、構成(反復)などの特徴を生かした音楽表現をするために必要な音の組合せ方、記譜の仕方などの技能を身に付けて旋律をつくっている。



5 本題材で位置付ける〔共通事項〕

〔共通事項〕	本題材における具体の姿
リズム	言葉に合わせた様々なリズム 例 えのき(ツツツ)まって(ツツツ)
旋律	ハ長調の旋律 旋律の上行形下行形 順次進行 跳躍進行
構成 (反復)	リズムや旋律の繰り返し

6 題材の指導計画と評価計画 (全3時間)

時間	◇ねらい ○学習内容 ・学習活動	教師の指導・支援	評価方法
1	◇ 言葉のアクセントやリズム、ハ長調による旋律、構成(反復)を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、絵本の言葉に関心をもって、創作に取り組む。		
	○ 創作した絵本の歌を聴いて、言葉のアクセントやリズム、ハ長調による旋律、構成(反		

	<p>復)などを知覚・感受する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉がもっているアクセントやリズムを感じ取りながら、絵本の読み聞かせを聴く。 ・ 絵本を音読する。 ・ 言葉にはアクセントがあることを知る。 ・ 言葉にはリズムがあることを知る。 ・ 教師が考えた絵本の一部の歌を聴く。 <p>・ 本題材では、絵本の言葉をもとにして、ハ長調の音階を用いた旋律をつくることを知る。</p> <p>○ 自分が選んだ絵本の言葉に合う旋律をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉のアクセントやリズム、ハ長調による旋律、構成(反復)などの旋律をつくるときのポイントを確認する。 ・ 言葉のアクセントやリズムをもとに、歌ったり、アルトリコーダーで音を出したりしながら、旋律をつくる。 ・ ドレミなどの階名やツツツなどのリズムをワークシートに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アクセントやリズムを感じ取りやすいような絵本の言葉を読み聞かせる。 ・ 音高記号を使いながらアクセントについて説明する。 ・ アルトリコーダーでタンギングをしながら言葉のリズムに気付かせる。 ・ 創作している様子を見せ、絵本の一部の歌をつくって見せる。 ・ 言葉のアクセントやリズム、ハ長調による旋律の特徴を感じ取って、創作することのおもしろさに気付かせる。 ・ 絵本の言葉から、いくつか提示し、自分が歌にしたいところを選ばせる。 ・ 言葉のアクセントやリズムが旋律をつくる時の手掛かりになることを押さえる。 ・ 跳躍進行や順次進行についても説明する。 ・ 言葉を書き出させ、言葉に合う音高やリズムを考えて創作させる。 ・ 自分で歌ったり音を出したりして試しながら、旋律をつくるよう助言する。 ・ ワークシートに書かせておく。 ・ リズムが浮かばない生徒には、言葉を声に出してみ、ツツツと置き換えてみることを助言する。 ・ 音高が浮かばない生徒には、言葉のアクセントを手掛かりに音の高さを決めることを助言する。 	<p>関① 〈観察〉</p>
2	<p>◇ 言葉のアクセントやリズム、ハ長調による旋律、構成(反復)などの特徴を感じ取りながら、創作に必要な技能を身に付け、思いや意図をもって自分の旋律をつくる。</p>		
	<p>○ 自分が選んだ絵本の言葉に合う旋律をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉のアクセントやリズム、ハ長調による旋律、構成(反復)などの旋律をつくるときのポイントを確認する。 ・ 前時の作品を基に、アルトリコーダー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉のアクセントやリズムが旋律をつくる時の手掛かりになることを前時の作品を紹介しながら押さえる。 ・ 前時でつくった作品を手拍子でたたいたり、アルトリコーダーで演奏したりして見て、修正してもよいことを知らせる。 ・ アルトリコーダーで音を出して試 	

	<p>で音を出して確かめながら、自分が選んだ言葉の旋律をつくる。</p> <p>○ 記譜の仕方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 早くできた生徒同士で、紹介し合う。 数名の完成した生徒の作品の発表を聴く。 自分がつくった旋律をワークシートに記譜するとともに、自分が選んだ言葉にふさわしい旋律をつくるために「工夫したこと」を書く。 	<p>しながら、旋律をつくることを告げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品は、ワークシートに記譜するように指示する。 記譜するときのポイントを説明する。 うまく記譜ができない子どもには、音階表やリズムカードを見て確認することを告げる。 友達に聞きながら、記譜してもよいことを確認する。 歌ったり、演奏したりできなくてもよいことや、お互いに演奏し合ってもよいことを伝える。 数名の完成した生徒の作品を発表させるが、紹介する際の演奏は、教師がサポートする。 言葉のアクセントやリズム、構成(反復)などについて「工夫したこと」を書くよう助言する。 	 <p>創① 〈観察・ワークシート〉</p>
3	<p>◇ 言葉のアクセントやリズム、ハ長調による旋律、構成(反復)などの特徴を感じ取りながら、自分の作品を見直して、作品を仕上げ紹介する。</p> <p>○ 自分の作品を見つめ直し、思いや意図について再確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の作品の仕上げをして演奏する。 全体で作品を紹介する。 学習を終えて感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> アルトリコーダーで演奏したり、歌ったりして、確認しながら作品を仕上げる。 記譜の仕方を確認する。 友達の作品のよさに気付かせる。 創作学習を終えて感じたことをワークシートに書かせる 	 <p>技① 〈ワークシートの作品〉</p>


7 本時の学習指導（2/3）

（1）指導目標

- 言葉のアクセントやリズム、ハ長調による旋律、構成(反復)などの特徴を感じ取りながら、創作に必要な技能を身に付け、思いや意図をもって自分の旋律をつくることができるようにする。

（2）指導過程

過程	学習活動	教師の指導・支援	評価規準 評価方法
1	アルトリコーダーでリズム	・ リズム呼称をして確認する。	

		<ul style="list-style-type: none"> ・ うまく記譜ができない子どもには、音階表やリズムヒントカードを見て確認することを指示する。 ・ 友達に聞きながら、記譜してもよいことを確認する。  <ul style="list-style-type: none"> ・ 早くできた生徒同士で作品を紹介し合わせる。 	
まとめ	<p>5 完成した生徒の作品を聴く。</p> <p>6 ワークシートに「工夫したこと」を書く。</p> <p>7 次時の学習について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数名の完成した生徒の作品を発表させるが、紹介する際の演奏は、教師がサポートする。 ・ 友達の作品のよさに気付かせる。 ・ 言葉のアクセントやリズム、構成(反復)などについて「工夫したこと」を書くよう助言する。 ・ 次時は、全作品を紹介し合うことを告げる。 	創① 〈観察・ワークシート〉

題材のねらい

「おやおや、おやさい」を音楽絵本にしよう



第①時

旋律づくりのコツを学んで、旋律(メロディー)づくりに挑戦しよう！

第②時

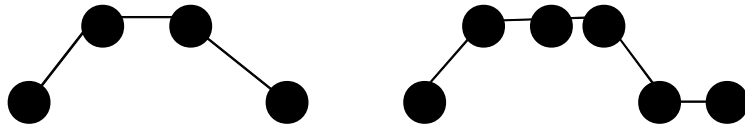
旋律(メロディー)を作って楽譜に書こう！

第③時

作った旋律(メロディー)を紹介し合おう！

Everyday、カチューシャ

カチューシャ はずしながら



言葉にはアクセントがあります。
日本語には、高低のアクセントがあります。

言葉に旋律(メロディ)をつけるときは、高低の
アクセントに気をつけると、自然な感じに聞こえます。

Everyday、カチューシャ

かぜの	ツ ツ ツー
なかで	ツ ツ ツー
ほほえむだけで	ツ ツ ツ ツ ツ ツ ツー
なぜか	ツ ツ ツー
なにも	ツ ツ ツー
いえなくなるよ	ツ ツ ツ ツ ツ ツ ツー

言葉にはリズムがあります。

言葉に旋律(メロディ)をつけるときは、言葉がもって
いるリズムを生かしてリズムを考えるとよいです。

さあ、旋律をつくってみよう！

(つくりかた)

- 1 自分が旋律をつけたいと思う言葉を選ぶ。
- 2 声に出して何度も読む。(表情豊かに)
- 3 言葉のリズムやアクセントを考えながら、言葉に合う旋律を考える。
(リコーダーで吹いたり、歌ったりできる)
- 4 ワークシートにメモする。
- 5 楽譜にして、完成させる。



旋律をつくるときのルール

(使う音)

- ハ長調(ドレミファソラシド)で作ります。
- 曲の始まりはドミソのどれかで始めます。
- 曲の終わりは必ずドで終わるようにします。



(拍子)

- 基本的に2拍子で作ります。3拍子や4拍子でつくれる人はそれでもいいです。

【ワークシート①】の記入の仕方

①あなたが選んだ言葉を書こう！	きょうは いよいよ マラソンたいかい
②言葉に合う旋律ができたならリズム(っ、っ)などを書いてみよう！	ンツーツ ツツツツ ツックツック ツーツー
③言葉に合う旋律ができたなら音の高さ(ドレミ...)を書いてみよう！	ソ ミ ドドドド ララシシ ド ド
※直接、楽譜に書き記すことができる人はここに書いてもかまいません。	

【ワークシート②】の記入の仕方

【ワークシート②】次の時間に向けて、上の旋律を完成させるときに、どのような音楽的な工夫をしようと思いますか。すでに工夫をしていることでもかまいません。「選んだ言葉」「リズム」「アクセント」「旋律」などの言葉を使って書きなさい。

選んだ言葉のマラソン大会のワクワクする感じが出るように、ツックツックという**リズム**を使った。
選んだ言葉のマラソン大会の盛り上がる様子が伝わるようにララシシドードーと**旋律**がだんだん高くなるようにした。



題材「おやおやおやさい」を音楽絵本にしよう！ ワークシート

年 組 号 氏名

今日の目標

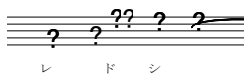
旋律づくりのコツを学んで、旋律（メロディー）づくりに挑戦しよう！

コツその１ 言葉の〔（高低の）アクセント〕と〔リズム〕を感じ取って、旋律（メロディー）をつくろう！

そらまめ りっぱな そろり パセリ えのき あにき おとうと りっぱな

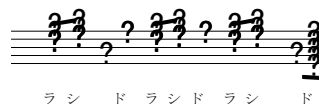
コツその２ 旋律のつながり方や音楽の構成（仕組み）を生かして、旋律（メロディー）をつくろう！

跳躍（ちょうやく）進行 → 2音以上、上や下へ



構成 → 反復

順次（じゅんじ）進行 → 隣り合った上や下の音へ



【ワークシート①】 実際に音を出しながら考えて、いいと思った旋律は何度もリコーダーで吹いたり、口ずさんだりしてみよう。できた部分から、下の表にメモしよう。

【ワークシート②】 次の時間に向けて、上の旋律を完成させるときに、どのような音楽的な工夫をしようと思いますか。すでに工夫をしていることでもかまいません。「選んだ言葉」「リズム」「アクセント」「旋律」などの言葉を使って書きなさい。

①あなたが選んだ言葉を書こう！	
②言葉に合う旋律ができたならリズム（ツ、ツーなど）を書いてみよう！	
③言葉に合う旋律ができたなら音の高さ（ドレミ…）を書いてみよう！	
※直接、楽譜に書き記すことができる人はここに書いてもかまいません。	

【ワークシート②】 次の時間に向けて、上の旋律を完成させるときに、どのような音楽的な工夫をしようと思いますか。すでに工夫をしていることでもかまいません。「選んだ言葉」「リズム」「アクセント」「旋律」などの言葉を使って書きなさい。

第1時の目標

旋律づくりのコツを学んで、旋律（メロディー）づくりに挑戦しよう！

コツその1 言葉の、（高低の）アクセントとリズムを感じ取って、旋律（メロディー）をつくろう！

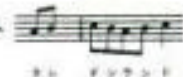
えのき あにき そらまめ おとうと バセリ りっぱな

コツその2 旋律のつながり方や音楽の構成（仕組み）を生かして、旋律（メロディー）をつくろう！

跳躍（ちょうやく）進行 → 2音以上、上や下へ




順次（じゅんじ）進行 → 隣り合った上や下の音へ



構成 → 反復



【ワークシート①】 実際に音を出しながら考えて、いいと思った旋律は何度もリコーダーで吹いたり、口ずさんだりしてみよう。できた部分から、下の表にメモしよう。

①あなたが選んだ言葉を書こう！	そらまめ そろって マラソンさ
②言葉に合う旋律ができたなら音の高さ（ドレミ…）を書いてみよう！	ミファミレ ミリツミ トリミソド そらまめ そろって マラソンさ
③言葉に合う旋律ができたならリズム（ツ、ツーなど）を書いてみよう！	ツツツツ ツツツツ ツツツツツ そらまめ そろって マラソンさ
※直接、楽譜に書き記すことができる人はここに書いてもかまいません。	 そらまめ そろって マラソン さ

【ワークシート②】 次の時間に向けて、上の旋律を完成させるときに、どのような音楽的な工夫をしますか。すでに工夫をしていることでもかまいません。「選んだ言葉」「リズム」「アクセント」「旋律」などの言葉を使って書きなさい。

選んだ言葉の「マラソンさ」のところが、明るい感じにしてみました。「そらまめ」の所は、言葉のアクセントのまき使ってみました。けっこう上手くまとまったのでよかったです。



今日の目標

旋律づくりのコツを学んで、旋律（メロディー）づくりに挑戦しよう！

コツその1 言葉の（高低の）アクセントとリズムを感じ取って、旋律（メロディー）をつくろう！

そらまめ りっぱな そろり パセリ えのき あにき おとうとりっぱな

コツその2 旋律のつながり方や音楽の構成（仕組み）を生かして、旋律（メロディー）をつくろう！

跳躍（ちょうやく）進行 → 2音以上、上や下へ



構成 → 反復



順次（じゅんじ）進行 → 隣り合った上や下の音へ



【ワークシート①】 実際に音を出しながら考えて、いいと思った旋律は何度もリコーダーで吹いたり、口ずさんだりしてみよう。できた部分から、下の表にメモしよう。

①あなたが選んだ言葉を書こう！	そろり そろり セロリ は はしる
②言葉に合う旋律ができたら音の高さ（ドレミ…）を書いてみよう！	ドレド ミレド ファファミソ ファミ ド
③言葉に合う旋律ができたらリズム（ツ、ツーなど）を書いてみよう！	ツツ ツー ツー ツツ ツツ ツツ ツツ
※直接、楽譜に書き記すことができる人はここに書いてもかまいません。	

【ワークシート②】 次の時間に向けて、上の旋律を完成させるときに、どのような音楽的な工夫をしますか。すでに工夫をしていることでもかまいません。「選んだ言葉」「リズム」「アクセント」「旋律」などの言葉を使って書きなさい。

そろり、そろりa所が同じ言葉なので同じリズムじゃなくかえてツツツとツツツにした。
b所は明るい感じじゃない気がしたので低い音でそのそしているような感じにした。
最後の所は音を低くした。



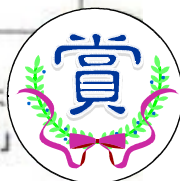
旋律づくりのコツを学んで、旋律（メロディー）づくりに挑戦しよう！

きゅうり えのき あにき おとうと パセリ りっぱな

[illegible]

【ワークシート②】 次の時間に向けて、上の旋律を完成させるときに、どのような音楽的な工夫をしようと思いますか。すでに工夫をしていることでもかまいません。「選んだ言葉」「リズム」「アクセント」「旋律」などの言葉を使って書きなさい。

この言葉は、小さい「ら」や、のぼすと二つもあって、リズムが「おずかしいけど」、
「りっり」としたり、「リー」としたりしました。楽譜のかきかえをえました。



第1時の目標

旋律づくりのコツを学んで、旋律（メロディー）づくりに挑戦しよう！

コツその1 言葉の、（高低の）アクセントとリズムを感じ取って、旋律（メロディー）をつくろう！

え の き あ に き そ ら ま め お と う と バ セ リ り っ ば な

コツその2 旋律のつながり方や音楽の構成（仕組み）を生かして、旋律（メロディー）をつくろう！

跳躍（ちょうやく）進行 → 2音以上、上や下へ




構成 → 反復



順次（じゅんじ）進行 → 隣り合った上や下の音へ



【ワークシート①】 実際に音を出しながら考えて、いいと思った旋律は何度もリコーダーで吹いたり、口ずさんだりしてみよう。できた部分から、下の表にメモしよう。

①あなたが選んだ言葉を書こう！	ラディッシュ だんだん ダッシュする。
②言葉に合う旋律ができたら音の高さ（ドレミ…）を書いてみよう！	ミファミ レファレファ ソミレド
③言葉に合うリズムができたらリズム（ツ、ツーなど）を書いてみよう！	- ツツツツツツ ツツツツ ツツツツ ツツツツ
※直接、楽譜に書き記すことができる人はここに書いてもかまいません。	 ツ ツー ツ ツツ ツツ ツツ ツツ ツツ ツツ ツツ

【ワークシート②】 次の時間に向けて、上の旋律を完成させるときに、どのような音楽的な工夫をしますか。すでに工夫をしていることでもかまいません。「選んだ言葉」「リズム」「アクセント」「旋律」などの言葉を使って書きなさい。

選んだ言葉とリズムを合わせるのが
おずかしかった。

